



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月1日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
コード番号 1730 URL <https://www.asofoam.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花岡 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 井上 喜博

TEL 044-422-2061

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	688	16.1	110		104		73	
2022年3月期第1四半期	819	13.6	60		52		36	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.62	
2022年3月期第1四半期	10.74	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,281	1,337	40.8
2022年3月期	3,300	1,411	42.8

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 1,337百万円 2022年3月期 1,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	16.4	10		14		10		2.93
通期	5,200	44.7	150		157		110		32.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	3,420,000 株	2022年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	6,271 株	2022年3月期	6,232 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	3,413,762 株	2022年3月期1Q	3,413,768 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	7
受注高、完成工事高及び繰越工事高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを取り戻し、経済活動が回復に向けた動きを見せる一方で、急激な円安の加速による金融市場への影響、長期化が見込まれるウクライナ情勢などに起因した原材料価格やエネルギー価格の高騰等、景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましても、公共投資については、国土強靱化や防災減災対策を背景にインフラ需要を中心に底堅く推移していくことが見込まれるものの、労務単価の高止まりや建設資材価格の高騰等により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社は、同感染症予防に注力するとともに、当事業年度を初年度とする3か年中期経営計画の目標達成に向け営業と施工の効率化に取組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績は、受注高がほぼ計画どおりの998百万円（前年同四半期比8.6%減）となりましたが、売上高が一部の大型工事の工程の遅れなどで688百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

各段階の損益につきましては、建設資材価格の高騰による影響はありませんでしたが、前年同四半期に比べ完成工事高が大幅に減少したことや、地盤改良工事において、施工トラブルが発生し工事原価が増加したことで工事全体の完成工事総利益率が低下したことなどもあり、販売費及び一般管理費を賄えず営業損失110百万円（前年同四半期は営業損失60百万円）、経常損失104百万円（前年同四半期は経常損失52百万円）、法人税等調整額△31百万円を計上したことで四半期純損失73百万円（前年同四半期は四半期純損失36百万円）となりました。

主要な工事の状況は、次のとおりであります。

(気泡コンクリート工事)

受注高は、空洞充填工事の受注高が97百万円（前年同四半期比42.8%減）となりましたが、軽量盛土工事の受注高が見込んでいた大型工事の受注が堅調に推移し413百万円（前年同四半期比22.8%増）、また管路中詰工事の受注高も順調に推移し342百万円（前年同四半期比16.4%増）となり、気泡コンクリート工事全体の受注高は853百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

完成工事高につきましては、軽量盛土工事の完成工事高が一部の大型工事において前工程の遅れなどで220百万円（前年同四半期比6.7%増）と計画より減少したことや、管路中詰工事の完成工事高が172百万円（前同四半期比10.0%減）、空洞充填工事の完成工事高も前事業年度からの繰越工事が少なかったこともあり113百万円（前年同四半期比31.9%減）と減少し、気泡コンクリート工事全体の完成工事高は506百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

(地盤改良工事)

受注高は、大型工事の受注が少なかったことから144百万円（前年同四半期比51.0%減）となりました。

完成工事高につきましても、受注している一部の大型工事の着工時期のずれ込みや、施工トラブルによる施工の中断などにより177百万円（前年同四半期比25.6%減）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏るといった傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ19百万円減少し3,281百万円となりました。その主な要因としましては、受取手形が20百万円、契約資産が114百万円、未成工事支出金が13百万円、繰延税金資産が31百万円それぞれ増加しましたが、完成工事未収入金が218百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ54百万円増加し、1,943百万円となりました。その主な要因としましては、電子記録債務が80百万円、未払金が42百万円それぞれ減少しましたが、借入金143百万円、未払消費税等が12百万円、賞与引当金が22百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ73百万円減少し1,337百万円となりました。その主な要因としましては、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において見込んでいた工事施工が大幅にずれ込んだことで、今後の当社工事の工程調整が課題となり、また建設資材価格上昇の影響が出てくる可能性があり、加えて新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により建設工事の中断や遅延などが懸念されますが、十分な対応は可能であると考えており、2022年5月13日に公表しました2023年3月期（第2四半期累計期間及び通期）の業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	730,184	726,452
受取手形	21,685	42,539
電子記録債権	239,418	247,261
完成工事未収入金	447,715	228,822
売掛金	275	3,943
契約資産	83,043	197,098
未収還付法人税等	20,688	20,688
未収消費税等	7,667	16,987
未成工事支出金	930	14,459
原材料及び貯蔵品	52,009	57,824
前払費用	18,219	21,471
その他	4,369	11,767
流動資産合計	1,626,208	1,589,318
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	42,759	41,655
構築物(純額)	1,090	1,472
機械及び装置(純額)	213,029	198,047
車両運搬具(純額)	131	122
工具、器具及び備品(純額)	12,813	18,076
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産(純額)	35,311	31,975
建設仮勘定	6,446	6,446
有形固定資産合計	1,412,441	1,398,655
無形固定資産		
商標権	616	599
ソフトウェア	4,269	3,914
電話加入権	2,350	2,350
ソフトウェア仮勘定	2,877	2,877
無形固定資産合計	10,113	9,742
投資その他の資産		
投資有価証券	24,925	25,394
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	2,646	2,859
繰延税金資産	106,403	137,741
敷金及び保証金	13,364	13,022
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	252,098	283,776
固定資産合計	1,674,654	1,692,173
資産合計	3,300,862	3,281,491

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	131,688	126,295
電子記録債務	337,431	257,199
工事未払金	263,545	249,819
1年内返済予定の長期借入金	209,964	228,644
リース債務	13,285	12,869
未払金	110,226	67,347
未払費用	4,250	7,745
未払法人税等	3,336	4,149
未払消費税等	—	12,908
未成工事受入金	11,464	8,239
賞与引当金	26,197	48,812
工事損失引当金	—	8,505
流動負債合計	1,111,388	1,032,537
固定負債		
長期借入金	457,029	582,108
リース債務	35,446	32,201
退職給付引当金	245,006	254,457
役員退職慰労引当金	40,541	42,251
固定負債合計	778,024	911,018
負債合計	1,889,412	1,943,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	591	564
繰越利益剰余金	113,044	39,249
利益剰余金合計	1,022,686	948,864
自己株式	△1,553	△1,572
株主資本合計	1,410,733	1,336,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	716	1,044
評価・換算差額等合計	716	1,044
純資産合計	1,411,449	1,337,935
負債純資産合計	3,300,862	3,281,491

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	819,822	688,132
完成工事高	819,168	684,029
商品売上高	654	4,102
売上原価	701,757	616,207
完成工事原価	701,378	613,068
商品売上原価	379	3,139
売上総利益	118,064	71,924
完成工事総利益	117,789	70,961
商品売上総利益	274	963
販売費及び一般管理費	178,209	182,887
営業損失(△)	△60,145	△110,962
営業外収益		
受取手数料	75	68
受取配当金	5,326	3,653
為替差益	—	133
受取技術料	4,321	4,080
雑収入	240	50
営業外収益合計	9,964	7,985
営業外費用		
支払利息	1,426	1,378
支払技術料	704	—
雑支出	106	406
営業外費用合計	2,237	1,784
経常損失(△)	△52,417	△104,760
税引前四半期純損失(△)	△52,417	△104,760
法人税、住民税及び事業税	540	540
法人税等調整額	△16,286	△31,479
法人税等合計	△15,745	△30,938
四半期純損失(△)	△36,672	△73,822

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	801,273	73.4	853,593	85.5	3,025,265	73.2
地盤改良工事	295,479	27.0	144,751	14.5	1,111,866	26.9
その他工事	△4,700	△0.4	—	—	△2,820	△0.1
合計	1,092,052	100.0	998,344	100.0	4,134,312	100.0

(2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	564,135	68.9	506,119	74.0	2,544,671	71.3
地盤改良工事	239,137	29.2	177,910	26.0	1,005,279	28.2
その他工事	15,895	1.9	—	—	17,775	0.5
合計	819,168	100.0	684,029	100.0	3,567,726	100.0

(3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間末 2021年6月30日		当第1四半期累計期間末 2022年6月30日		前事業年度末 2022年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	683,021	76.2	1,273,952	84.7	926,478	77.9
地盤改良工事	213,163	23.8	230,249	15.3	263,408	22.1
その他工事	—	—	—	—	—	—
合計	896,185	100.0	1,504,201	100.0	1,189,886	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は(前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高)に一致しております。